

東京大学大学院人文社会系研究科
次世代人文社会学育成プログラムによる海外派遣
帰国報告

(最終報告提出日 2012年3月10日)

1. 派遣生の基本情報

- (1) 氏名：辻笑子
- (2) 所属：東京大学大学院人文社会系研究科附属次世代人文学開発センター
萌芽部門次世代人文社会学育成プログラム客員研究員
- (3) 派遣カテゴリー：平成23年度夏学期個人派遣 PD

2. 研究課題名：ニューカレドニアの危機に瀕した言語の記述

— オロエ語の文法スケッチ、語彙集、テキスト集の作成 —

3. 派遣先での活動

(1) 派遣先の基本情報

国名：ニューカレドニア (Nouvelle-Calédonie)
都市名：ヌメア (Nouméa) および ブラーユ (Bourail)
研究機関名：ニューカレドニア大学 (Université de la Nouvelle-Calédonie)
コンタクトした研究者：ジャック・ヴェルノドン (Jacques Vernaudon)

(2) 派遣期間

出発日：2011年12月26日 帰国日：2012年2月25日 総日数：62日

4. 研究成果

(1) 当初の計画の概要：

本研究の目的は、ニューカレドニアの危機に瀕した言語の一つ「オロエ語」の文法スケッチ、語彙集、テキスト集を、現地公用語のフランス語で作成することである。具体的には、2007年から2010年までの現地調査で得たデータを基に、予め日本で土台となる草稿を書き上げ、その後、現地でデータの確認作業を行う。派遣先のニューカレドニア大学で助言を受けたり、話者のニーズを聞いたりしながら、今後話者が実際に使えるような資料の作成を目指す。

(2) 実際に達成された成果：

[1] 2007年から2010年までの調査で得たデータを基に、オロエ語の文法スケッチ、語彙集、テキスト集の草稿を書き進めた。文法スケッチは、フランス語母語話者の協力を得て、英語で執筆したものをフランス語に翻訳する作業を進めた。語彙集は、辞書作成ソフト **Lexique Pro** を用いて約1400語のエントリーを作成し、個々の語のデータを整理した。テキスト集は、Blaise Moimbeu氏が語った10の物語と、Jeannette Akaro氏が語った童話4つを書き起こし、他の先住民語のテキスト資料を参考に、

話者が読みやすいようにオロエ語のテキストとフランス語訳の配置を考えて書き進めた。また、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所フィールド言語学ワークショップ「ELAN によるアノテーション付与と字幕付き動画の作成」を受講し、字幕付きの動画をDVDにするノウハウを学んだ。

[2] ニューカレドニア南部州のポテ集落に滞在し、Blaise Moimbeu 氏の協力のもと、作成したオロエ語資料の修正作業を行った。彼のニーズに合わせ、まずは彼が語った物語9つを含むテキスト集を完成させた。同時に、それぞれの物語の音声ファイルを収録したCD及び字幕付きのDVDも作成した。加えて、語彙集及び文法スケッチのデータの修正作業も可能な限り進め、新たな語彙や例文の収集も行うことができた。Jeannette Akaro 氏とは、彼女が語った4つの童話を絵本にするため、テキストを絵本向けに修正し、各ページにおけるテキストの配置を考え、イラストのアイデアを練り、絵本の基礎となる部分を完成させることができた。

[3] ニューカレドニア大学言語文化学科の Jacques Vernaudon 教授を訪ね、作成中のオロエ語資料に関する助言をいただいた。また同学科でオロエ語を研究している学生 Milka Kapissiri 氏とディスカッションする機会を持つこともでき、主にオロエ語の表記法に関して意見交換を行った。

[4] Jacques Vernaudon 教授の紹介により、ニューカレドニアの先住民語の本の出版などを手掛けている現地の公共機関 Académie des Langues Kanak の代表者 Weniko Ihage 氏と、同僚の Stéphanie Geneix-Rabault 氏及び Poedi Prosper 氏と面会し、作成中のオロエ語資料を今後出版するための話をすることができた。



【テキスト集、CD、DVDを話者に提供】



【語彙集の例文を調査 Poedi Prosper氏撮影】

(3) 今後の研究展望：

今回 Blaise Moimbeu 氏に提供したテキスト集に含まれる4つの物語、及び Jeannette Akaro 氏と作成した4つの童話のテキストに関しては、既に2人から出版の許可を得ているので、フランス語母語話者の協力のもと校正を進め、その後 Académie des Langues Kanak の Stéphanie Geneix-Rabault 氏と連絡をとりながら出版に向けた作業に入る予定である。文法スケッチおよび語彙集に関しても、今回の調査で得た例文や写真などを加えて、できるだけ話者が理解しやすいものに仕上げ、将来、Académie des Langues Kanak を通じて出版できるよう作業を進めたいと思う。